

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0 コード生成 ご使用上のお願い

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成 (CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) の注意事項を連絡します。

1. 外部割り込み設定時の初期化コードの注意事項 (78K0R/Kx3-L)
2. RL78/G13 100pinパッケージ選択時の注意事項 (RL78/G13グループ)
3. キー入力割り込み設定の注意事項 (RL78/L12グループ)
4. A/Dコンバータ動作設定の注意事項 (RL78/G1Aグループ)
5. タイマKB20使用時の注意事項 (RL78/L13グループ)

1. 外部割り込み設定時の初期化コードの注意事項 (78K0R/Kx3-L)

1.1 該当製品

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.00.01

1.2 該当マイコン

78K0R: 78K0R/Kx3-L

1.3 内容

78K0R/Kx3-L (44pinおよび48pin) のマイコンで外部割り込みINTP3およびINTP7を選択した時、初期化コードにPIM8をデジタル信号へ切り替えるコードがありません。

1.4 回避策

初期化コードに、PIM8のデジタル入出力許可ビットを1にするコードを、手動で追加してください。

1.5 恒久対策

CubeSuite+ の次期バージョンで改修する予定です。

2. RL78/G13 100pinパッケージ選択時の注意事項 (RL78/G13グループ)

2.1 該当製品

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.00.01

2.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/G13グループ

2.3 内容

RL78/G13グループ 100pinパッケージ のデバイスを選択した場合、端子配置ツールプロパティで、パッケージ種類を FBからFAへ変更してから端子配置ツールを起動すると、CubeSuite+が強制終了します。

2.4 回避策

RL78/G13グループ 100pinパッケージ のデバイスを選択した場合は、FAパッケージを選択しないでください。

2.5 恒久対策

CubeSuite+ の次期バージョンで改修する予定です。

3. キー入力割り込み設定の注意事項 (RL78/L12グループ)

3.1 該当製品

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.00.01

3.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/L12グループ

3.3 内容

「キー割り込みフラグ」および「検出エッジ」での設定内容が保存されない場合があります。

設定後プロジェクトを保存した後に、プロジェクトを再読み込みすると、保存されなかった設定は元の設定に戻ります。

3.4 回避策

プロジェクトを再読み込みした後に、「キー入力割り込み」の設定が、再読み込みを行う前の設定と同じになっているか確認してください。

3.5 恒久対策

CubeSuite+ の次期バージョンで改修する予定です。

4. A/Dコンバータ動作設定の注意事項 (RL78/G1Aグループ)

4.1 該当製品

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.00.01

4.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/G1Aグループ

4.3 内容

「変換時間設定」の「変換時間モード」での設定内容が保存されない場合があります。

設定後プロジェクトを保存した後に、プロジェクトを再読み込みすると、保存されなかった設定は元の設定に戻ります。

4.4 回避策

プロジェクトを再読み込みした後に、「変換時間モード」の設定が、再読み込みを行う前の設定と同じになっているか確認してください。

4.5 恒久対策

CubeSuite+ の次期バージョンで改修する予定です。

5. タイマKB20使用時の注意事項 (RL78/L13グループ)

5.1 該当製品

CubeSuite+用RL78ファミリ, 78K0R, 78K0コード生成
(CubeSuite+ Code_Generator for RL78_78K) V2.00.01

5.2 該当マイコン

RL78ファミリ: RL78/L13グループ

5.3 内容

タイマKB20の使用時に、「単体動作モード(外部トリガ入力による周期制御)」および「インタリーブPFC(power factor correction)出力モード」の設定によっては、APIが自動で出力されません。

5.4 回避策

下記のAPIが手動で出力されるように「コード・プレビュー」で設定してください。

- R_KB20_Create
- R_KB20_Start
- R_KB20_Stop
- R_KB20_Set_BatchOverwriteRequestOn
- R_KB20_TKBO0n_SmoothStartFunction_Start
- R_KB20_TKBO0n_SmoothStartFunction_Stop
- R_KB20_TKBO0n_DitheringFunction_Start
- R_KB20_TKBO0n_DitheringFunction_Stop
- R_KB20_TKBO0n_Forced_Output_Stop_Function1_Start
- R_KB20_TKBO0n_Forced_Output_Stop_Function1_Stop

5.5 恒久対策

CubeSuite+ の次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.